

コンピュータに何ができるか

馬野 元秀 先生（大阪府立大学理学系研究科）

大阪府立大学の馬野元秀先生をお招きして、コンピュータについてのお話をさせていただきました。最近では、コンピュータを使った生活が当たり前になってきています。何か調べたいことがあると、インターネットで検索するためにコンピュータを使います。ノート型のコンピュータがあれば、普段使っているスマートフォンもコンピュータのひとつであり、世界には私たちの知らないコンピュータがたくさんあります。馬野先生には様々なコンピュータと、その性能について紹介させていただきました。

日本で最も計算の速いコンピュータは愛称を「京」といい、理化学研究所が開発しました。1秒間に1京回の計算を行うことから、この愛称がついたといわれています。体育館の広さくらいある、とても大きなコンピュータです。2011年に解析能力で世界第1位となりましたが、2012年に2位となり、現在は世界第4位で、現在でも世界中でコンピュータの進化が行われています。このように研究分野のコンピュータもあれば、プロ将棋棋士に勝つために開発されたコンピュータなどもあり、生徒たちは様々なコンピュータの可能性に興味津々の様子でした。

